

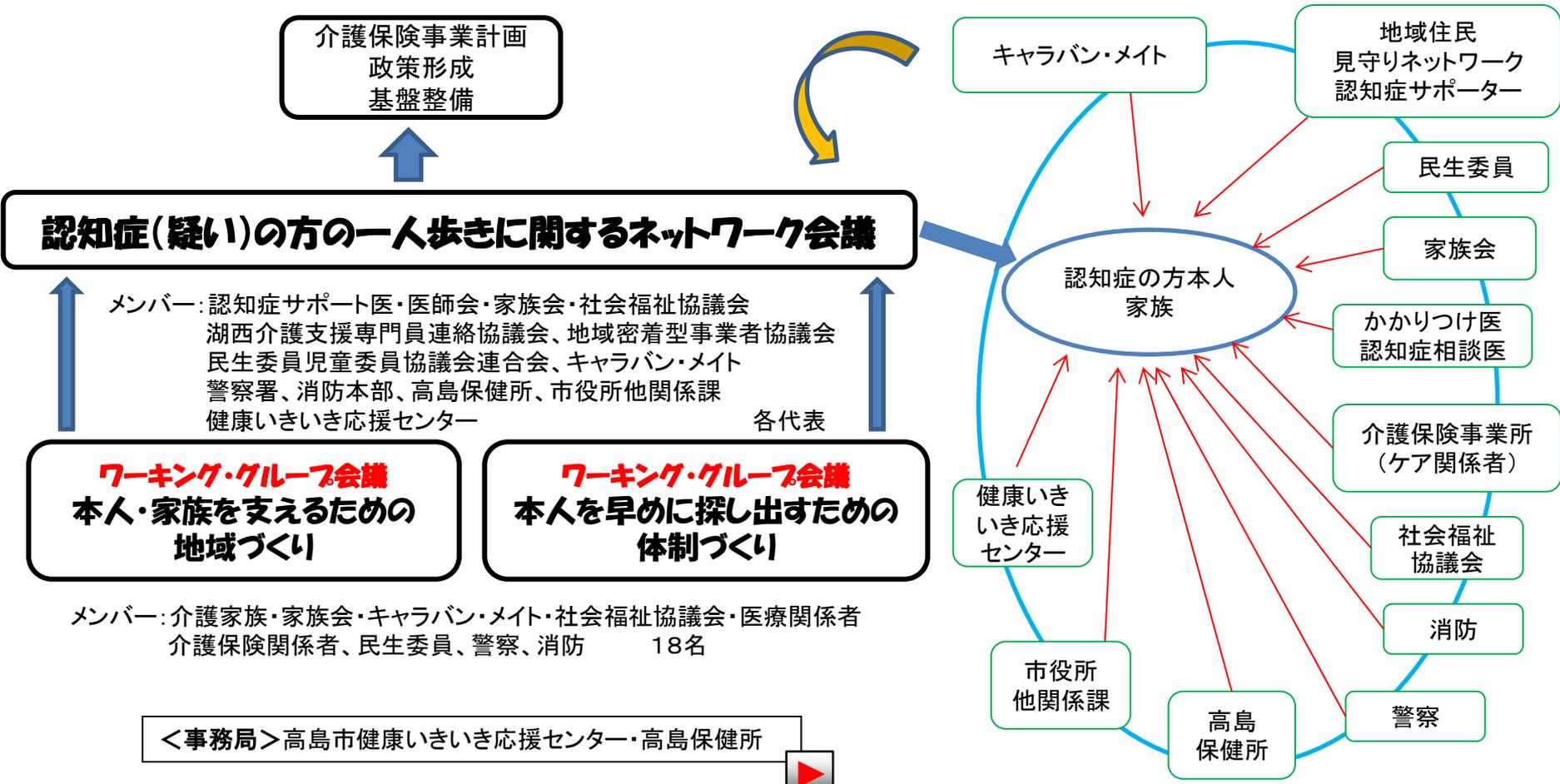
高島市 認知症(疑い)の方の一人歩き(徘徊)に関する支援事業

目標：認知症の方や家族が住み慣れた地域で安心して暮ることができるまちづくりを進める

認知症(疑い)の方の一人歩き(徘徊)の実情を把握し、地域での支援状況や各関係機関の取り組みの現状と課題を明確にすることで、地域住民や関係機関における認知症の方とその家族を見守り支え合う仕組みづくりを行う。

スケジュール

H24年11月～12月 一人歩き(徘徊)に関する実態調査
 H25年 3月 第1回ネットワーク会議
 H25年 6月～ ワーキング・グループ会議(月1回程度)
 H25年10月 第2回ネットワーク会議
 H26年 3月 第3回ネットワーク会議





地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	高島市
②人口（※1）	52,306人（平成25年4月30日現在）（ ）
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	65歳以上 28.7%（ ） 75歳以上 15.8%
① 取組の概要	認知症（疑い）の方の一人歩き（徘徊）の実情を把握し、地域での支援状況が各関係機関の取り組みの現状と課題を明確にすることで、地域住民や関係機関における認知症の方とその家族を見守り支え合う仕組み作りの構築を行う
⑤取組の特徴	①過去（現在）に徘徊されたことのある方の介護者および市内居宅介護支援事業所の介護支援専門員に対して、インタビュー形式にて「一人歩き（徘徊）に関する実態調査」を行い、（平成24年11月～12月）その結果をもとにネットワーク会議を開催（平成25年3月） ②ワーキンググループ会議を開催し、調査結果や個別事例を通して高島市における支援体制を具体的に検討していく③ワーキンググループ会議で検討した支援体制について、ネットワーク会議にて施策化に向けて検討する。 実際の家族の言葉や関係者の思い、現状の取り組みをメンバーが共有し、認知症に関する多様な事業や取り組み、つながりを効果的・持続的・発展的に推進し、支援体制につなげていくようにする。
⑥開始年度	平成24年度
⑦取組のこれまでの経緯	地域で認知症の方や家族が安心して過ごすことができるまちづくりを目指して「認知症サポーター養成講座」「家族会の育成」を積極的に行った。またケア関係者のケア力向上のための研修会や医療・福祉・介護等の関係者のネットワーク体制整備に向けて「湖西認知症ケアネット」を開催してきた。
⑧主な利用者とな数	ワーキンググループメンバー・ネットワーク会議メンバー 介護家族、家族会代表者、キャラバン・メイト、介護保険関係者・医療関係者 警察、消防、行政等 18名
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	高島市健康いきいき応援センター（地域包括支援センター） 滋賀県 高島健康福祉事務所（高島保健所）
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	高島市主体で実施している
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	医療・福祉を推進する高島地域協議会より支援 平成25年度：70,560円
⑫取組の課題	今後の取り組みによる
⑬今後の取組予定	6月よりワーキンググループ会議を定例的に開催（月1回程度） 10月と3月にネットワーク会議を開催する。
⑭その他	高島市社会福祉協議会では市内48区において地域住民を中心とした、地域の見守りネットワーク活動を展開している。（平成22年度より）





⑮担当部署及び連絡先	高島市北部健康いきいき応援センター 0740-22-0193
------------	-----------------------------------

- ※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
- ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。





2 認知症ケアの充実 ～重点項目への取り組み その1～

(1) 認知症を取り巻く現状

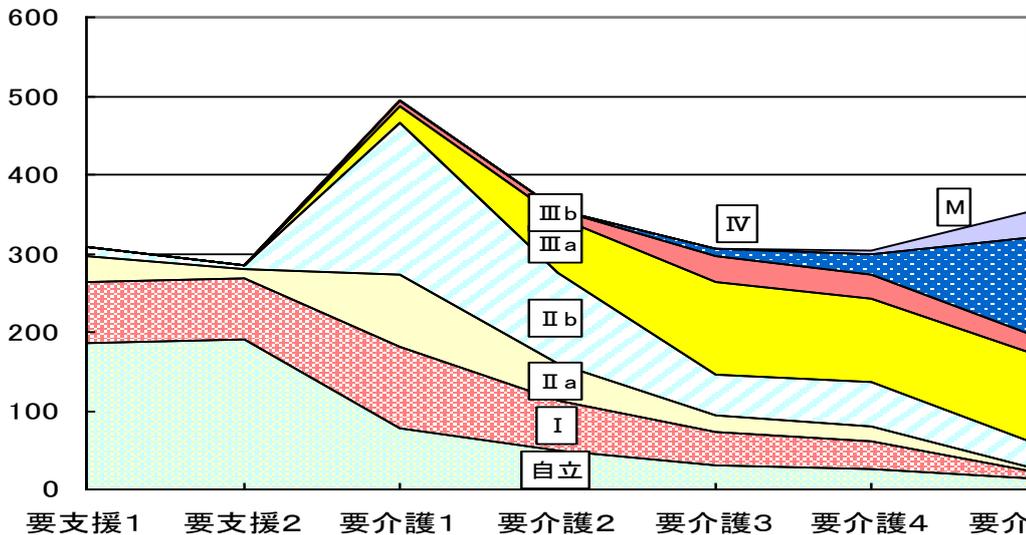
高島市の状況

本市の高齢化率は平成23年9月末時点で27.1%となり、約4人に1人が65歳以上の高齢者となります。また、認定者数は、2,454人となり、高齢者の16.5%が要介護認定者となっています。

認定者のうち、認知症の症状がある高齢者(下記グラフの認知症高齢者の自立度がⅡa以上)は約6割となり、見守りや何らかの支援が必要な認知症高齢者となっています。

平均寿命の延びとともに、高齢者介護や認知症高齢者の増加が見込まれますが、近年では、若年性認知症患者もおられ、相談窓口やサポート体制づくりを進める必要があります。

要介護度別認知症高齢者の自立度 (H23.1.31現在の実人数)



		自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
要介護度	要支援1	185	78	33	12					308
	要支援2	191	78	11	4					284
	要介護1	78	103	91	194	22	5	1		494
	要介護2	50	62	49	115	69	10	1		356
	要介護3	30	43	21	52	118	33	8		305
	要介護4	26	36	18	57	105	31	27	3	303
	要介護5	14	10	5	33	111	25	121	35	354
合計		574	410	228	467	425	104	158	38	2404

ランク	判断基準
I	何らかの認知症状を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II a	家庭外で、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られても、誰かが注意していれば自立できる。
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。
III a	日中を中心として、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。
III b	夜間を中心として、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患(意思疎通が全くできない寝たきり状態)が見られ、専門医療を必要とする。





認知症に対する医療体制について

本市には認知症サポート医 2 名、認知症相談医 1 2 名が認定され、医療における相談体制が整えられています。

主治医と認知症専門医療機関との連携体制も整備され、スムーズな連携が行われるようになりました。主治医に相談することで早期に認知症専門医療機関に受診される方が徐々に増えてきています。しかし、市内に認知症専門医療機関がなく、大津や湖南圏域の専門医療機関へ紹介されることも多く、遠距離受診を余儀なくされています。

認知症ケア体制について

市内には小規模多機能型居宅介護事業所 5 か所、認知症対応型通所介護事業所 3 か所、認知症対応型共同生活介護事業所 5 か所が整備され認知症の方へのケア体制の構築が進められています。また、各介護サービス提供事業所では認知症の理解を深め、よりよいケアができるよう認知症に関する研修を積極的に行っています。

一方では、軽度認知症や若年性認知症の方についてはサービスが利用しにくい現状が見られます。

地域の介護状況について

核家族化などにより介護を代わってもらう人がいない状況（介護者の特定化）や、認知症高齢者のひとり暮らし、夫婦ともに認知症である高齢者世帯、夫や息子による介護（男性介護者）の増加、遠距離介護など地域の介護状況は非常に厳しいものとなっています。

また、虐待を受ける高齢者の多くは認知症状があり、虐待を未然に防ぐための取り組みや関係者間の連携が求められています。

地域の支援体制について

認知症高齢者の閉じこもりや地域での交流の機会の減少、認知症についての偏見などによる本人や家族の孤立がみられます。

平成 21 年 1 月から平成 23 年 11 月までに、認知症（疑い）による徘徊で警察署に保護された方の人数は延べ 70 人となっています。徘徊に関する相談は増えているものの地域での認知症による徘徊高齢者の支援体制は整っていません。

	高齢者 (65 歳以上)	64 歳以下	計
平成 21 年 (1 月～12 月)	19 人	2 人	21 人
平成 22 年 (1 月～12 月)	20 人	0 人	20 人
平成 23 年 (1 月～11 月)	27 人	2 人	29 人
計	66 人	4 人	70 人

情報提供：高島警察署





(2) 課題

- * 住み慣れた高島市で安心して生活するためには地域全体（自治会・職域・学校など）で認知症の方や家族に対しての身近な理解者を増やし、温かい目で見守り、支援できる人づくり、まちづくりが求められます。
- * 医療機関連携だけでなく、介護と医療の連携がスムーズにできるよう関係者の顔が見える関係づくりが必要です。
- * 徘徊認知症高齢者の支援について関係者間や地域のネットワークづくりが必要です。
- * 認知症を早期発見し支援できる体制づくりが必要です。
- * 若年性認知症の方や家族への支援体制の構築を行うことが必要です。
- * 高齢者虐待を未然に防止できる体制づくりが必要です。

(3) 高島市の取り組み状況

目 標	認知症の方や家族が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできるまちづくりを進める
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症について市民の正しい理解を広める。 ②認知症の方や家族を温かい気持ちで見守り、支援できるまちづくりを進める。 ③地域で支え合う仕組みが生まれる。 ④医療・福祉・保健・介護が連携し、その人にあった医療やケアが提供できる。 ⑤認知症の早期発見・早期対応が可能なシステムができる。 ⑥家族が地域の中で孤立せず、自分なりに前向きな気持ちで介護を続けて行くことができる。





(別表1) 認知症に関する取り組みの経過

目標：認知症の方や家族が住みなれたまちで安心して暮らすことのできるまちづくりを進める

ねらい	平成17・18・19年度	平成20・21年度
<p>①認知症について市民の正しい理解を広める</p> <p>②認知症の方や家族を温かい気持ちで見守り、支援できるまちづくりを進める</p> <p>③地域で支え合う仕組みが生まれる</p>	<p>①認知症の理解促進（啓発）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆キャラバン・メイト養成講座 (H17 6名・H19 47名) ◆キャラバン・メイト定例会・学習会 (平成19年7月～月1回) ◆認知症サポーター養成講座 (受講者 1,401名) ◆一般講演会 ◆一般広報（広報たかしま） ◆H19：パンフレット作成 (みんなで支えよう大切な人) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆キャラバン・メイト養成講座 (受講者H21:3名 H22:5名) 合計61名 ◆キャラバン・メイト定例会・学習会 (2か月に1回程度) ◆認知症サポーター養成講座 H20：市民・市職員・民生委員 (受講者 2,637名) H21：市民・職域・中学校 (受講者 3,270名) ◆一般広報（広報たかしま） ◆脳力アップ教室の実施 (高島市社会福祉協議会へ委託) (H21開始：実人数8名参加)
<p>④医療・福祉・保健・介護の連携がスムーズにとれ、その人にあった医療やケアが提供できる</p> <p>⑤認知症の早期発見・早期対応できるシステムができる</p>	<p>②医療と介護の連携および認知症支援ネットワークの構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆医師会 認知症勉強会 ◆H20：湖西認知症ケアネットの立ち上げ ◆H21：湖西認知症ケアネット（年4回開催） メンバー：医師会・介護保険関係者 ・行政・福祉関係者（有志） ◆H21：認知症見守り事業打ち合わせ (月1回) メンバー：高島保健所・高島市社会福祉協議会 ・認知症専門指導師・地域包括支援センター ◆H21：高島地域認知症支援ネットワーク会議 (高島保健所主催) メンバー：医師会・介護保険関係者・行政 ・福祉関係者・民生委員・警察 ・消防・家族会代表・介護相談員 ・キャラバン・メイト代表 ◆H20：高齢者虐待防止ネットワーク会議 メンバー：医師会・介護保険関係者・行政 ・福祉関係者・民生委員・警察
<p>⑥家族が地域の中で孤立せず、自分なりに前向きな気持ちで介護を続けていくことができる</p>	<p>③本人・家族支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆家族介護教室 (H18年 6回・H19年 10回) ◆家族会への支援 ・紅葉の会（今津） ・結いの会（新旭） ・みのり会（安曇川） ・ひまわり会（朽木） ・なごやか会（高島） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆家族介護教室 (H20年 10回・H21年 11回) ◆家族会への支援





<第5期介護保険事業計画抜粋>

	平成22年度	平成23年度（見込み）
① 認知症の理解促進（啓発）	<ul style="list-style-type: none"> ◆キャラバン・メイト定例会・学習会 ◆認知症サポーター養成講座 市民・県職員・職域・中学校 (受講者 4, 219名) ◆一般広報（広報たかしま） ◆脳力アップ教室の実施 (高島市社会福祉協議会へ委託) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆キャラバン・メイト養成講座 (受講者27名) 合計88名 ◆キャラバン・メイト定例会・学習会 ◆認知症サポーター養成講座 市民・警察・消防・市職員・小・中学校 (予定受講者 5, 000名) ◆一般広報（広報たかしま）
② 医療と介護の連携および認知症支援ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ◆認知症見守り事業打ち合わせ（不定期） 高島保健所・高島市社会福祉協議会・認知症専門指導師 ◆高島地域認知症支援ネットワーク会議 (高島保健所主催) ◆認知症支援対策検討会開催 (認知症サポート医・高島市医師会会長 ・湖西介護支援専門員連絡協議会会長・認知症専門指導師 ・高島市社会福祉協議会職員・高島保健所) ◆高齢者虐待防止ネットワーク会議 ◆高齢者虐待防止マニュアル作成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆認知症支援対策検討会の開催 ◆介護保険従事者研修会開催（認知症研修） ◆徘徊認知症高齢者支援体制の構築に向けた先進地視察研修 ◆高齢者虐待防止マニュアルの啓発
③ 本人・家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆家族介護教室（11回） ◆家族会への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◆家族介護教室（9回） ◆男性介護者の会 ◆若年性認知症の家族の会 ◆家族会への支援





① 認知症の理解促進（啓発）

- 地域住民などへの認知症の理解促進のための取り組み
 - キャラバン・メイト（認知症啓発のためのボランティア）の養成および育成（平成23年度 合計88名）
 - 認知症サポーター養成講座の開催（平成22年度末 4,219名受講）
 - 認知症に関する市民向け講習会の開催
 - 啓発パンフレット（支えよう大切な人）の作成
 - 広報たかしまへの掲載
- 専門職に対する認知症の理解促進のための取り組み
 - 介護保険従事者研修会の開催
 - 多職種協働研修会の開催（高島保健所と共同開催）

② 医療と介護の連携および地域の認知症支援ネットワークの構築

- 湖西認知症ケアネットの開催（年4回）
 - ・早期発見と対応・支援および関係者間の連携のあり方について検討
- 高島地域認知症支援ネットワーク会議（高島保健所主催）の開催
 - ・高島市の認知症に関する現状報告と今後の取り組みについて意見交換
- 認知症支援対策検討会開催（年1回）
 - ・認知症対策の取り組みの優先課題と今後の方向性について検討
- 高齢者虐待防止ネットワーク会議（平成20年度・22年度）
 - ・高齢者虐待防止に向けての取り組みについて検討
- 高齢者虐待防止マニュアルの作成および啓発
- 徘徊認知症高齢者支援体制の構築に向けた先進地視察研修

③ 本人・家族支援

- 家族介護教室の開催（年10回）
 - ・認知症や介護に関する学習・情報交換・リフレッシュ事業など
- 家族会の支援
 - ・市内には5つの家族会があり、定期的な集まりにより情報交換や学習会を実施
- 男性介護者への支援
 - ・男性介護者支援に関する講演会の開催
 - ・ケアメン（男性介護者）の会の開催
- 若年性認知症の方と家族の支援
 - ・若年性認知症の方と家族の会の開催





(4) 今後の取り組み (別表2参照 P46~49)

① 認知症の理解促進と充実した支援体制の構築

- 地域住民などへの認知症の理解促進のための取り組みを継続します。
 - 平成23年度末で5,000人の認知症サポーターの養成を目標に活動してきました。平成24年度から3年間でさらに2,000人の認知症サポーターを増やします。
 - 認知症の方や家族を地域で支援でき、支え合える人づくり、まちづくりを進めます。
 - *地域で認知症について考える機会を持ち、具体的な支援ができる体制づくりを進めます。(認知症サポーター養成講座のフォローアップ講座の開催など)
 - *まちづくりを担うリーダーを育成します。
- 専門職への認知症に対する理解を深め、充実した個別のケアが提供できるよう支援します。

② 医療と介護の連携および地域の認知症支援ネットワークの構築

- 医療・福祉・保健・介護の連携がスムーズにとれ、本人の状態に合った医療やケアが適切に提供できる体制づくりのための検討を継続して行います。(体制図参照)
- 認知症に関する相談窓口の充実や認知症の方を早期に把握し支援できる体制づくりを行います。
- 認知症高齢者の徘徊を未然に防ぐことのできる地域の見守り体制や、徘徊時の対応がスムーズにできるネットワークの構築を行います。
- 若年性認知症の方や軽度認知症の方の支援についての検討を行います。
- 高齢者虐待防止に向けての取り組みを継続します。

③ 本人・家族支援体制の充実

- 家族介護教室や既存の家族会の支援を継続して行います。
- 男性介護者の会を継続し家族会の育成を目指します。
- 若年性認知症の家族会の育成を目指し、当事者ととも若年性認知症の支援体制づくりについて検討します。





<第5期介護保険事業計画抜粋>

市健康推進課 ・各保健センター		社会福祉協議会		ケアマネ・事業所		警察		消防		保健所	
現在の 取り組み	今後の取組 (必要性)	現在の 取り組み	今後の取組 (必要性)	現在の 取り組み	今後の取組 (必要性)	現在の 取り組み	今後の取組 (必要性)	現在の 取り組み	今後の取組 (必要性)	現在の 取り組み	今後の取組 (必要性)
・介護予 防出前講 座	・介護予防 出前講座	・出前講 座	⇒継続							・県高島 地域地方 機関の職 員・保健 所職員へ の認知症 サポーター 養成講座 の実施	
・民生委員 活動支援	⇒継続	・地域での 回想法の 展開									
・健康推 進員の養 成・支援	⇒継続	・サロンの 開催	・誰でもが参 加できるサロ ンづくり								
		見守りネッ トワーク	⇒継続								
	地域の実態 把握	・傾聴ボラ ンティアの 養成	・傾聴ボラン ティアの活動 支援								
		・福祉推 進員の養 成と支援	⇒継続							・地域支 援ネッ トワー ク会議 の開催	・ネットワー ク会議充 実・部 会の開催
	・地域住民と の意見交換の 機会を持つ										
		・住民福 祉ネッ トワー クの展 開	⇒継続		・地域住民 と行政・介 護事業所な どの交流						
・徘徊時 関係者との 連携・個 別支援	⇒継続			・徘徊時 関係者との 連携・個 別支援	⇒継続	・徘徊時 関係者との 連携・個 別支援	⇒継続	・徘徊時 関係者との 連携・個 別支援	⇒継続		
	・徘徊ネッ トワー ク体制の 構築			・徘徊ネッ トワー ク体制の 構築		・徘徊ネッ トワー ク体制の 構築		・徘徊ネッ トワー ク体制の 構築		・徘徊ネッ トワー ク体制の 構築	
高齢者虐 待防止 ネットワー ク	⇒継続	高齢者虐 待防止 ネットワー ク	⇒継続	高齢者虐 待防止 ネットワー ク	⇒継続	高齢者虐 待防止 ネットワー ク	⇒継続	高齢者虐 待防止 ネットワー ク	⇒継続	高齢者虐 待防止 ネットワー ク	⇒継続





(別表2)その2 認知症高齢者見守り事業

目標: 認知症の方や家族が住みなれた地域で安心して暮らすことのできるまちづくりをすすめる

課題	例	ねらい	目指す方向性	取り組み	医療機関		地域包括支援センター	
					現在の取り組み	今後の取組(必要性)	現在の取り組み	今後の取組(必要性)
関係機関連携 医療・福祉・保健・介護の連携が不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医には診療の場面だけでは、家庭内での病状や生活状況が十分に把握できない ・専門医を紹介してほしいという本人・家族・関係者の意図が分からない ・個別の関わりにおけるアドバイザーがほしい ・本人や家族のニーズや状態変化時の関係者の連携がスムーズにできていない 	④ 医療・福祉・保健・介護の連携がスムーズにこれ、その人にあった医療やケアが提供できる。	医療と福祉・保健・介護のネットワークを構築する ・関係者の認知症に関する理解を深め、個別ケアの確立が必要 ・本人の状態に合った医療やケアが適切に受けられるような体制づくり ・若年性認知症支援 ・軽度認知症支援	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医とケアマネ・ケア担当者の気軽に相談できる関係づくり ・関係者の認知症ケアの充実化 ・連携システムの検討 ・認知症サポート医・相談医との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症支援体制検討会 ・認知症研究会 ・行政・ケアマネ・ケア担当者との連携・専門医療機関との連携 	⇒継続 ⇒継続 ・連携システムの検討 支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症支援体制検討会 ・ケアマネや介護保険関係者への研修 ・医療機関・関係機関との連携 	⇒継続 ⇒継続 ・連携システムの検討 支援体制の構築
早期発見・早期対応 認知症の早期発見、早期受診が不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・早期発見・対応の遅れ ・認知症患者の増加 ・受診の大変さ 	⑤ 認知症の早期発見・早期対応できるシステムができる。	・認知症の方を早期に把握し、支援できる体制づくり ・本人や家族が気軽に相談できる窓口の充実化	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への周知(早期対応のメットや相談窓口など) ・かかりつけ医や専門医・ケア担当者とのスムーズな連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・湖西認知症研究会 ・相談体制・関係機関との連携の充実 ・病病連携、病診連携ルートの確立 	⇒継続 ⇒充実化	<ul style="list-style-type: none"> ・おたっしや問診などからの実態把握と保健センターとの連携 早期発見・受診に関する啓発 ・個別相談 ・医療機関・関係機関との連携・早期受診対応 	啓発の強化 相談体制・関係機関との連携の充実 連携の充実
家族支援 家族への支援が不十分	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者である家族の認知症の正しい理解が困難 ・家族介護負担と地域での孤立化 ・世間体を気にして早期発見が見過ごされている ・老老介護・男性介護者の増加 	⑥ 家族が地域の中で孤立せず、自分なりに前向きな気持ちで介護を続けていくことができる。	・家族の認知症の理解が深まる ・家族がストレス発散できる ・相談できる仲間づくり ・近所の理解とねぎらいがある	<ul style="list-style-type: none"> ・家族交流会・教室の開催 ・家族会支援 ・男性介護者への支援 ・地域の介護状況の把握 若年性認知症の介護者の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・本人への個別支援 	⇒充実化	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会への支援 ・家族介護教室の開催 ・個別の介護相談 	⇒継続 ・男性介護者の会 ・地域の介護問題の実態把握 ⇒充実 若年性認知症家族会



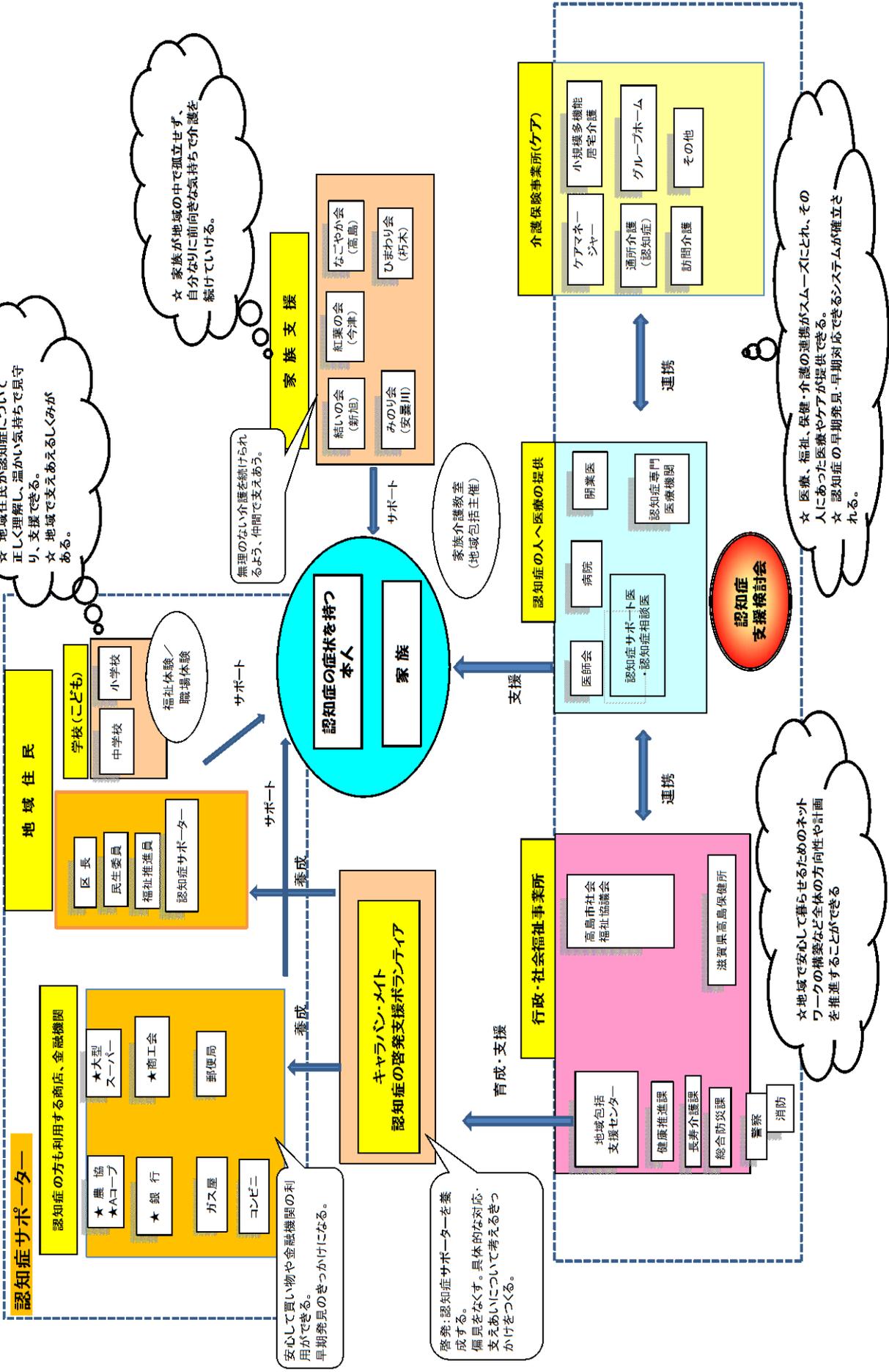


<第5期介護保険事業計画抜粋>

市健康推進課 ・各保健センター		社会福祉協議会		ケアマネ・事業所		警察		消防		保健所	
現在の 取り組み	今後の取組 (必要性)	現在の 取り組み	今後の取組 (必要性)	現在の 取り組み	今後の取組 (必要性)	現在の 取り組み	今後の取組 (必要性)	現在の 取り組み	今後の取組 (必要性)	現在の 取り組み	今後の取組 (必要性)
	支援体制の構築	・認知症支援体制検討会 ・医療機関・関係機関との連携	⇒継続 ・連携システムの検討 支援体制の構築	・認知症支援体制検討会 ・医療機関・関係機関との連携	⇒継続 ・連携システムの検討 支援体制の構築					・認知症支援体制検討会 ・多職種協働研修会(関係者への啓発) ・医療福祉連携研修会 ・医療機関・関係機関との連携 認知症相談医養成・育成研修	⇒継続 ⇒継続 ・連携システムの検討 支援体制の構築
・健診での把握と指導 ・介護予防事業の開催 ・個別相談	・おたっしや問診などからの実態把握と包括との連携 ⇒継続 ・相談体制・関係機関との連携の充実			・個別相談 ・医療機関・関係機関との連携・早期受診対応	・相談体制・関係機関との連携の充実 連携の充実					・医療機関・関係機関との連携・早期受診対応 ・個別相談	連携の充実 ・相談体制・関係機関との連携の充実
・個別の介護相談	⇒充実 ・地域の介護問題の実態把握		・地域の介護問題の実態把握	・家族会の開催 ・個別の介護相談 若年性認知症家族の支援	⇒継続 ⇒充実						



認知症高齢者地域支援体制検討図 (図1)





平成24年度

認知症（疑い）の方の一人歩き（徘徊）に関する支援ネットワーク会議開催要領

1. 目的：

認知症（疑い）の方の一人歩き（徘徊）の実態調査の結果をもとに、地域での支援状況や各関係機関の取り組みの現状と課題を明らかにすることにより、認知症の方とその家族を見守り、支え合う仕組みづくりにおける地域住民や各関係機関の役割と目指す方向性について検討する。

2. 実施主体：高島市健康福祉部健康いきいき応援センター

3. 日時：平成25年3月8日（金）午後3時から5時

4. 場所：今津保健センター 多目的ホール

5. 内容：

（1）高島市の認知症支援に関する取り組みについて（報告）

（2）認知症（疑い）の方の一人歩き（徘徊）に関する実態調査結果報告について

・主任介護支援専門員等への聞き取り調査結果報告および考察

・過去に一人歩き（徘徊）されたことがある方の介護者（家族）への聞き取り調査結果報告および考察

（3）各関係機関における認知症および一人歩き（徘徊）に関する支援の取り組み状況について

（4）今後の支援体制づくりに関して、各関係機関の役割や取り組みの方向性について

（5）次年度以降の取り組みについて

6. ネットワーク会議メンバー

有識者

認知症介護指導者

医師会代表

認知症サポート医

高島警察署（生活安全課）課長

社会福祉協議会代表（地域支援課）

民生委員児童委員協議会連合会代表

湖西介護支援専門員連絡協議会代表

高島市介護サービス事業者協議会 小規模多機能・グループホーム部会代表

高島市家族会 紅葉の会・みのり会 各代表

高島市キャラバン・メイト代表

高島市消防本部消防総務課代表

長寿介護課長

健康推進課長

市防災課長

高島保健所次長・担当者

健康いきいき応援センター所長・担当者

